

『北海道クルーズ・旅客船メルマガ』は、クルーズ振興が海事振興にとどまらず、地域振興、観光振興にも寄与することから、クルーズ情報に限らず、フェリー・旅客船に関する情報や一般海事情報、地域観光情報等も含め、幅広くご提供したいと考えております。

<目次>

1. 情報：クルーズをもっと身近に感じてください！  
～「にっぽん丸」クルーズモニターとセミナー&船内見学会  
～「飛鳥Ⅱ」クルーズセミナー&船内見学会を同時募集～
2. 情報：初クルーズの感想と思い出の写真をいただきました  
～「ぱしふいっくびいなす」クルーズモニター～
3. 情報：日本人のクルーズ人口、クルーズ船の寄港回数が過去最多  
～2018年の我が国のクルーズ等の動向(調査結果)～
4. 情報：小樽・積丹デイクルーズを実施しました！  
～小学生の親子40組80名をご招待～
5. 情報：3年ぶり！雨に降られず開催  
～マリンフェスタin小樽！～
6. 情報：日本のおてっぺん稚内へ  
～稚内のイベントのご紹介～
7. 情報：「クルーズなんでも屋」vol. 52！  
～アドベンチャートラベルの推進～
8. 事務局からのお知らせ

1. 情報：クルーズをもっと身近に感じてください！  
～「にっぽん丸」クルーズモニターとセミナー&船内見学会  
～「飛鳥Ⅱ」クルーズセミナー&船内見学会を同時募集～

北海道の寄港地を満喫するクルーズの大人気企画「飛んでクルーズ北海道」は今年14年目を迎えます。商船三井客船株式会社様のご協力のもと、みなさまにクルーズをもっと身近に感じていただくため、今年も「にっぽん丸」の乗船モニターとセミナー&見学会を実施いたします。

- 乗船モニター募集 1組2名  
9月8日(日)～9月11日(水)  
「飛んでクルーズ北海道」小樽発着Dコース  
(小樽～礼文島～羅臼～小樽)  
\*応募締切り 8月18日(日)必着

【応募方法】

北海道クルーズ振興協議会ホームページ  
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise11.html>

- クルーズセミナー&船内見学会参加者募集 60名  
9月11日(水) 13時30分～  
小樽港第3埠頭停泊中の「にっぽん丸」船内で開催  
\*郵船トラベル株式会社 宮嶋久国氏より「クルーズ旅行の楽しさ」  
に関するご講演後、船内を見学していただきます。  
\*応募締切り 8月25日(日)必着

【応募方法】

北海道クルーズ振興協議会ホームページ  
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise12.html>

また、苫小牧港では、郵船クルーズ株式会社様ご協力のもと「飛鳥Ⅱ」のクルーズセミナー&船内見学会を実施いたします。

- クルーズセミナー&船内見学会参加者募集 130名
- 9月7日(土) 11時00分～
- 苫小牧港西港区入船ふ頭停泊中の「飛鳥Ⅱ」船内で開催
- \* 日本政府観光局 清水克子氏より「クルーズ旅行の楽しさ」に関するご講演後、船内を見学していただきます。
- \* 応募締切り 8月19日(月) 必着

【応募方法】

苫小牧海事事務所HP

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/muroran/tomakomai/press/20190726.pdf>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 野村  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

---

2. 情報：初クルーズの感想と思い出の写真をいただきました  
～「ぱしふいっくびいなす」クルーズモニター～

6月に実施した「ぱしふいっくびいなす」の「青森・小樽ワンナイトクルーズ」モニターに見事当選したお二人から、その楽しさや魅力が伝わる感想をお寄せいただきました。  
ご提供いただきました日本クルーズ客船株式会社様、ありがとうございました。

お二人の旅行についての詳細は以下のURLにて是非ご覧ください。  
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise21/news/20190802.pdf>

まだ「ぱしふいっくびいなす」を体感されていない方は、まずは、ホームページをご覧ください。

○びいなすクルーズのホームページ  
<https://www.venus-cruise.co.jp/#2>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 野村  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

---

3. 情報：日本人のクルーズ人口、クルーズ船の寄港回数が過去最多  
～2018年の我が国のクルーズ等の動向(調査結果)～

2018年の日本人のクルーズ人口は32.1万人となり、2年連続で30万人を超え、過去最多を更新しました。

詳細については下記ホームページをご覧ください。

○国土交通省HP

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji02\\_hh\\_000243.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji02_hh_000243.html)

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 野村  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

---

#### 4. 情 報：小樽・積丹デイクルーズを実施しました！ ～小学生の親子40組80名をご招待～

---

7月14日（日）新日本海フェリー株式会社の「小樽開港120周年記念クルーズ」に伴い、北海道海事広報協会の協力のもと北海道運輸局は小学生の親子40組80名を無料招待しました。

当日は曇り空であいにくの天気だったものの、フェリー「あざれあ」による3時間クルーズ（積丹沖クルーズ）は大盛況となりました。

船内では様々なイベントが催され、3時間のクルーズもあっという間に時間が過ぎていき、子供たちも終始笑顔で楽しんでいました。

船内イベントの一つであるバルーンアートでは巧みな話術やパフォーマンスで子供たちは大喜び。子供だけでなく保護者もステージにあがり、バルーンで作成した花でプロポーズの再現を披露させる等大人も子供も大いに盛り上がりました。  
また、イベント終了後にもパフォーマーの周りには子供たちが記念写真や握手を求め下船まで大人気でした。

はじめて乗船するご家族からは、甲板上にヘリポートがあることや、船内に大浴場があることに驚いている声も聞こえてきました。

また、無料招待しました保護者へのアンケート結果からも、「思ったより酔わなかった」「思ったより設備がきれいだった」と好印象の回答が得られました。

北海道運輸局では、今後もフェリーの利用促進及び海事思想の普及を目的に様々な取組を実施並びに発信していきたいと思えます。

##### <問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 村野  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

---

#### 5. 情 報：3年ぶり！雨に降られず開催 ～マリンフェスタin小樽！～

---

小樽の夏のイベントとして恒例となりました「マリンフェスタin小樽」が7月14日（日）、小樽港マリーナや小樽築港臨海公園を会場として開催されました。

一昨年は大雨により午前中で中止になるなど、ここ2年は天候に恵まれず、今年も直前まで天気予報がコロコロ変わる状況でしたが、この日は曇り空のなか、暑さも抑えられて過ごしやす一日となりました。

当日は「スーパーキッズボート体験乗船」「クルーザーボート・ヨット体験クルーズ」「港湾業務艇による小樽港みなと見学会」などの海上イベントや小樽海上技術学校の「ノット・ボード」作成、小樽水産高等学校の「缶詰販売」「携帯ラジオ制作」や「フリーマーケット」などの陸上イベントが開催され、多くのお子様や大人まで楽しんで光景が見受けられました。

##### <問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 船員労政課 渥美  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

---

## 6. 情報：日本のおっぺん稚内へ ～稚内のイベントのご紹介～

---

稚内は日本のおっぺんに位置し、オホーツク海と日本海に面しており利尻礼文サロベツ国立公園をはじめとする豊かな自然が広がる街です。そんな稚内で開催されるイベントをご紹介します。

### 【イベント情報】 第59回みなと南極まつり

みなと南極まつりは、最北の街の短い夏を彩る一大イベントです。北海のおっぺんおどりと南極おどりの2つの踊りや、2,500発ほどの花火大会、観光物産まつりなどが予定されています。

なぜ、稚内で南極？となるかもしれませんが、稚内は南極観測で活躍した樺太犬タロ・ジロの故郷であり、観測に使われた初代砕氷船の名も「宗谷」と名付けられており、稚内と南極は深い関わりがあります。

□第40回わっかない観光物産まつり  
開催日：8月3日～8月4日  
会場：相沢食料百貨店駐車場

□北海のおっぺんおどり&南極おどり交流会  
開催日：8月3日（雨天時8月4日に順延）  
会場：中央アーケード街等周辺

□大花火大会  
開催日：8月4日（雨天時8月5日に順延）  
会場：北防波堤ドーム公園

他にも「副港ボートレース」や「花火大会ビアガーデン」などが開催されます。  
詳しくは下記サイトをご覧ください。

稚内市HP

<https://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/wmina-nankyo-fes.html>

<https://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/kanko/event/nankyokumatsuri.html>

### 【イベント情報】 第2回ONSENガストロノミーウォーキングin日本のおっぺん稚内

自然や歴史を感じながら巡りながら美味しいものを食べ、最後に温泉につかって楽しむイベントとなっています。稚内では、「北防波堤ドーム」や「稚内公園」等を巡るコースとなっており、郷土料理である「たこしやぶ」や今年から稚内ブランドに認定された「鹿肉ジンギスカン」等といった稚内ブランドが盛りだくさんの内容となっています。

開催日：9月22日（日）  
会場：稚内市内 約7.3kmのコース（スタート・ゴール地点：副港市場）

第2回ONSENガストロノミーウォーキングin日本のおっぺん稚内：  
<https://www.sportsentry.ne.jp/event/t/79701>

稚内ブランド公式サイト：  
<http://www.wakkanai-brand.jp/>

北海道運輸局 観光部 観光地域振興課 吉田  
<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>

---

## 7. 情報：「クルーズなんでも屋」vol. 5 2！ ～アドベンチャートラベルの推進～

---

「北海道クルーズ振興協議会」として、「北海道アドベンチャートラベル協議会」に加入させていただきました。

アドベンチャートラベル（以下、AT）とは、アドベンチャートラベル・トレード協会によると、「アクティビティ」「自然」「異文化体験」の3要素の内、2つ以上で構成される旅行との定義がされており、欧米圏で発達した体験型観光の一つとして、欧米を中心に約49兆円の巨大なマーケットがあるそうです。

ATの旅行者は一般の旅行者より、地域への経済効果、地域に還元される旅行消費額が大きいといわれております。

「欧米豪、ニュージーランドとは異なる魅力的な自然環境」、「多様な文化（アイヌ文化、縄文文化、日本文化）」など、北海道では、有利な条件が整っていると言えます。

また、ATWS（Adventure Travel World Summit）の誘致について、オール北海道で取り組んでいます。

ATWSの開催は、観光地としての日本の魅力を世界に発信する絶好の機会であり、地域経済が活性化する「起爆剤」として、2021年北海道誘致を目指しています。

北海道クルーズ振興協議会としても「冒険・探検船」に注目しており「冒険・探検船」では欧米系のお客様が多いと言われていることから、お客様の趣向及び北海道観光のターゲットにぴったり一致します。

近頃、「豪華客船にお金持ちは乗って来ない」とか「クルーズは経済効果が低い」という内容のニュースが取り上げられていますが、北海道では着地型観光商品を柱にする仕掛けが有効であると考えられ、ATの理念や体験商品をクルーズ誘致の武器にしていくことが得策ではないでしょうか。

### 参考

「北海道アドベンチャートラベル協議会」HP（英語のみ）  
<http://hokkaido-adventuretravel.com/>

アドベンチャートラベルに関する事など、お問い合わせはこちらまで  
<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

---

## 8. 事務局からのお知らせ

---

事務局では、会員の皆様からの、ネタを募集しております。クルーズ船が入港する、現場でしかわからない情報などは、特に歓迎いたします。ただし、記事の構成上、必ずしも掲載をお約束できませんので、その際はご容赦ください。

### ▼1

クルーズ寄港情報や過去のメールマガジンについては北海道クルーズ振興協議会のホームページをご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise1.html>

### ▼2

購読新規登録はこちらから

[http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13\\_1.html](http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_1.html)

▼3

登録変更

件名を【登録変更】とし、変更前・後のメールアドレスをご記載の上、当メールにご返信願います。

▼4

登録解除

件名を【登録解除】とし、登録解除アドレスをご記載の上、当メールにご返信願います。

---

北海道クルーズ振興協議会 事務局  
国土交通省 北海道運輸局 海事振興部  
旅客・船舶産業課 野村 健  
TEL:011-290-1011 FAX:011-290-1021  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

---